

九州電力株式会社  
川内原子力発電所1号機及び2号機  
安全確保上重要な行為等の保安検査報告書  
(平成30年度第4四半期)

令和元年5月  
原子力規制委員会

## 目 次

1. 実施概要 .....	1
2. 川内原子力発電所の設備および運転概要 .....	2
3. 保安検査内容 .....	2
4. 保安検査結果 .....	3
(1) 検査結果 .....	3
(2) 違反事項 .....	10
5. 特記事項 .....	10

## 1. 実施概要

### (1) 重大事故等<sup>1</sup>要員訓練時の保安検査(1号機及び2号機)

#### ① 保安検査実施期間(詳細日程は別添1、別添2、別添3及び別添4参照)

ア) 現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」

自 平成31年1月21日(月)

至 平成31年1月30日(水)

イ) 現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」

自 平成31年2月18日(月)

至 平成31年2月27日(水)

ウ) 大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練

自 平成31年3月13日(水)

至 平成31年3月20日(水)

エ) その他のSA等要員訓練

別添4の保安検査実施日

#### ② 保安検査実施者

ア) 現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」

川内原子力規制事務所

川ノ上 浩文

森園 康弘

川越 和浩

佐々木 敬一

米丸 祥一

中村 哲朗

イ) 現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」

川内原子力規制事務所

川ノ上 浩文

森園 康弘

川越 和浩

佐々木 敬一

米丸 祥一

中村 哲朗

ウ) 大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練

川内原子力規制事務所

---

<sup>1</sup> 以下「SA等」という。

川ノ上 浩文  
川越 和浩  
佐々木 敬一  
米丸 祥一

工) その他のSA等要員訓練

川内原子力規制事務所

川ノ上 浩文  
森園 康弘  
川越 和浩  
佐々木 敬一  
米丸 祥一  
中村 哲朗

2. 川内原子力発電所の設備および運転概要

号機	出力 (万 kW)	運転開始年月	前四半期から保安検査終了日までの運転状況
1号機	89.0	昭和59年7月	運転期間 (平成30年6月3日～) 停止期間 (～平成30年6月3日) 施設定期検査期間 (～平成30年6月29日)
2号機	89.0	昭和60年11月	運転期間 (平成30年8月31日～) 停止期間 (～平成30年8月31日) 施設定期検査期間 (～平成30年9月28日)

3. 保安検査内容

1号機及び2号機に対する安全確保上重要な行為等の保安検査では、下記に示す検査項目について、立入り、物件検査、関係者への質問等により、保安規定の遵守状況を確認するとともに、日々実施している運転管理状況の確認、発電用原子炉施設の巡視等についても保安検査として実施した。

(1) SA等要員訓練時の保安検査(1号機及び2号機)

- ア) 現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」
  - ・SA等要員訓練に係る準備の実施状況
  - ・SA等要員訓練の実施状況
- イ) 現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」
  - ・SA等要員訓練に係る準備の実施状況
  - ・SA等要員訓練の実施状況
- ウ) 大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練
  - ・SA等要員訓練に係る準備の実施状況
  - ・SA等要員訓練の実施状況
- エ) その他のSA等要員訓練
  - ・その他のSA等要員訓練の実施状況

#### 4. 保安検査結果

##### (1) 検査結果

###### ① SA等要員訓練時の保安検査(1号機及び2号機)

SA等要員訓練<sup>※</sup>として、平成31年1月23日から1月25日にかけて現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」、平成31年2月20日から2月22日にかけて現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」及び平成31年3月15日に「大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練」が予定されていたことから「SA等要員訓練に係る準備の実施状況」及び「SA等要員訓練の実施状況」について確認することとし、検査を実施した。

また、平成30年度第4四半期において「その他のSA等要員訓練」が実施されたことから「その他のSA等要員訓練の実施状況」について確認することとし、検査を実施した。

※: 重大事故等発生時又は大規模損壊発生時における発電用原子炉施設の保全のための活動を行うために必要な要員に対する訓練

###### ア) 現場シーケンス訓練「全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)」

検査の結果「SA等要員訓練に係る準備の実施状況」については、原子力訓練センター所長が、平成30年度の成立性確認訓練等の実施計画を作成し、原子炉主任技術者の確認、所長の承認を得ていること、また、緊急時対策本部要員(指揮者等)、運転員、運転対応要員及び保守対応要員で構成する班の中から昨年度以前とは異なる任意の班を選定し、訓練体制を構築していることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

今回の訓練対象者である緊急時対策本部要員(指揮者等)、運転員、運転対応要員及び保守対応要員が、必要な力量を有していることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

発電課長等が、当該訓練で使用する手順書を適宜見直していることを基準・手順書<sup>※2</sup>により確認した。

発電課長及び保修課長が、重大事故等対処設備の点検を適切に実施していることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

「SA等要員訓練の実施状況」については、訓練体制表に定められた訓練対象者、評価者、訓練確認者、時間計測員等を確保し、訓練体制を確立していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

当直課長が、システム情報<sup>※</sup>等によりプラント状況を判断し、重大事故等対応の操作等について指示していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

緊急時対策本部要員（指揮者等）が、プラント状態等の情報収集を行うとともに、重大事故等対応の作業等について指示していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

運転員、運転対応要員及び保修対応要員が、基準・手順書<sup>※2</sup>に従い、それぞれの役割に応じた操作・作業[大容量空冷式発電機からの給電準備・起動操作、常設電動注入ポンプ準備（ディスタンスピース取替え）、B充てん／高圧注入ポンプ（自己冷却）準備（ディスタンスピース取替え）、アニュラス空気浄化ファンのダンパ空気供給操作、中央制御室非常用循環系ダンパ開処置、海水ストレーナ上蓋取替（モックアップ）、取水用水中ポンプ・水中ポンプ用発電機・可搬型ホースの設置、中間受槽の設置、移動式大容量ポンプ車可搬ホース等の設置、可搬型温度計測装置取付け等]を実施（実働・模擬）した後、当直課長、緊急時対策本部要員（指揮者等）等に報告していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

時間計測員が現場操作等に要した時間を適切に計測し、記録していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

原子力訓練センター所長が、現場シーケンス訓練時の確認ポイントチェックシート及び成立性確認チェックシート等を確認し、手順書どおりに実施できていること、個別手順書毎に定められた要員で実施できていること、有効性評価の成立性担保のために必要な操作が、完了すべき時間内（ホールドポイント）に完了していること等が確認できたことから評価結果を「良」としていることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

また、訓練対象者（保修対応要員リーダー、保修対応要員（初動後））に対して、重大事故等発生時における操作・作業等の重要性等についてインタビューを実施した。

なお、重大事故等発生時においては、保修対応要員は緊急時対策本部の設置状況に応じて当直課長又は指揮者の指示に基づいて作業準備を行うとともに、当直課長又は指揮者に対して作業完了等の連絡を行う必要があるが、保修対応要員が使用する手順書において、当直課長の指示により作業準備を行うこと及び当直課長に作業完了の連絡を行うことが単一的に定められていることを気付き事項として指摘した。これを受け事業者から、今後、「保安規定に基づく保修業務要領」を改正し、緊急時対策所本部等の設置状況に合わせて手順書に記載された「当直課長」を「指揮者」に読み替えることを追記する旨の回答を得た。

また、本設の海水ストレーナ設置場所は、海水ストレーナに接続された海水配管が床面（グレーチング）から半分程度が突き出ていたり、手すりで囲まれた海水ストレーナ設置

場所の一部が吹き抜けで作業できない場所があるが、モックアップ設置場所は、海水配管や作業ができない吹き抜け部分が考慮されていないこと等を気付き事項として指摘した。これを受け事業者から、今後、海水ストレーナのモックアップの作業環境を改造し、本設の海水ストレーナ設置場所の作業環境と同程度とする旨の回答を得た。

さらに、宮山池取水ピットから1号機用の中間受槽までの間のホースの敷設において、ろ過水貯蔵タンク付近でホースを鋭角的に折り返して敷設していたため、通水した際にホースが屈曲(キンク)し、また、訓練終了までそのままの状況であったことから、ホース敷設時の最小曲げRの考慮、屈曲(キンク)発生時の対応等について気付き事項として指摘した。これを受け事業者から、今後、訓練テキストの注意事項に、ホースを敷設する際、ホースの曲がりを緩やかにする旨を追記するとともに、訓練開始前においても注意喚起する旨の回答を得た。

※:解析結果に基づく重要パラメータの時間変化データを中央制御室及び緊急時対策本部のディスプレイに表示させる装置

※1:確認した記録

- ・平成30年度川内原子力発電所原子力一般教育の実施計画(重大事故等発生時の対応に係る成立性の確認訓練)
- ・現場シーケンス訓練 訓練体制【I 全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)】
- ・力量評価表(緊急時対策本部要員(指揮者等)の力量)
- ・重大事故等対策用資機材等点検チェックシート
- ・成立性の確認訓練実績報告(平成30年度) 他

※2:確認した基準・手順書

a)非常事態対策基準

b)運転基準(緊急処置編、緊急処置編第二部、緊急処置編個別手順書)

- ・事故直後の操作及び事象判別
- ・全交流動力電源喪失
- ・大容量空冷式発電機による受電
- ・蒸気発生器による冷却・減圧(手動操作)
- ・常設電動注入ポンプによる代替炉心注入
- ・B充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)による代替炉心注入 他

c)手順書

- ・常設電動注入ポンプによる接続手順書(格納容器スプレイ・炉心注入)
- ・B 充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン接続手順書
- ・制御用空気喪失時における蓄電池室空調系自動ダンパの開処置手順書
- ・宮山池(淡水)から中間受槽への給水手順書

- ・中間受槽から1号復水タンクへの給水手順書
- ・移動式大容量ポンプ車による海水通水手順書 他

※3: 立会いた内容

- ・訓練体制の確立状況
- ・訓練対象者の活動状況(情報収集、状況判断、指示・報告、手順書の遵守等)
- ・時間計測員の活動状況(時間計測・記録等) 他

イ) 現場シーケンス訓練「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)」

検査の結果「SA等要員訓練に係る準備の実施状況」については、原子力訓練センター所長が、平成30年度の成立性確認訓練等の実施計画を作成し、原子炉主任技術者の確認、所長の承認を得ていること、また、緊急時対策本部要員(指揮者等)、運転員、運転対応要員及び保守対応要員で構成する班の中から昨年度以前とは異なる任意の班を選定し、訓練体制を構築していることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

今回の訓練対象者である緊急時対策本部要員(指揮者等)、運転員、運転対応要員及び保守対応要員が必要な力量を有していることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

発電課長及び保守課長が、当該訓練で使用する手順書を適宜見直していることを基準・手順書<sup>※2</sup>により確認した。

発電課長及び保守課長等が、重大事故等対処設備の点検を適切に実施していることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

「SA等要員訓練の実施状況」については、訓練体制表に定められた訓練対象者、評価者、訓練確認者、時間計測員等を確保し、訓練体制を確立していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

当直副長が、システム情報<sup>※</sup>等によりプラント状況を判断し、重大事故等対応の操作等について指示していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

緊急時対策本部要員(指揮者等)が、プラント状態等の情報収集を行うとともに、重大事故等対応の作業等について指示していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

運転員、運転対応要員及び保守対応要員が、基準・手順書<sup>※2</sup>に従い、それぞれの役割に応じた操作・作業[大容量空冷式発電機からの給電準備・起動操作、常設電動注入ポンプ準備(ディスタンスピース取替え)、B充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)準備(ディスタンスピース取替え)、中央制御室非常用循環系ダンパ開処置、アニュラス内水素濃度推定、海水ストレーナ上蓋取替(モックアップ)、取水用水中ポンプ・水中ポンプ用発電機・可搬型ホースの設置、中間受槽の設置、移動式大容量ポンプ車可搬ホースの設置等]を実施(実働・模擬)した後、当直副長、緊急時対策本部要員(指揮者等)等に報告していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。

時間計測員が、現場操作等に要した時間を適切に計測し、記録していることを立会い<sup>※3</sup>により確認した。



原子力訓練センター所長が、現場シーケンス訓練時の確認ポイントチェックシート及び成立性確認チェックシート等を確認し、手順書どおりに実施できていること、個別手順書毎に定められた要員で実施できていること、有効性評価の成立性担保のために必要な操作が、完了すべき時間内(ホールドポイント)に完了していること等が確認できたことから評価結果を「良」としていることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

訓練対象者(全体指揮者、保修対応要員リーダー)に対して、重大事故等発生時における情報収集、状況判断、操作・作業等に係る重要性等についてインタビューを実施した。

なお、「大容量空冷式発電機用燃料タンクへの燃料給油手順」に、燃料油貯蔵タンクのマンホール内の酸素濃度の判定値及び1A 燃料油貯蔵タンクから燃料油を全て抜き取った後の他の燃料油貯蔵タンクから燃料油を抜き取る手順等(1A 燃料油貯蔵タンク等の燃料レベルの確認、燃料油輸送用ホースの追加配備等)が明確に定められていないことを気付き事項として指摘した。これを受け事業者から、今後、当該手順を改正し、酸素濃度の判定値及び1A 燃料油貯蔵タンクから燃料油を全て抜き取った後の他(1B、2A、2B)の燃料油貯蔵タンクから燃料油を抜き取る手順を追記する旨の回答を得た。

※: 解析結果に基づく重要パラメータの時間変化データを中央制御室及び緊急時対策本部のディスプレイに表示させる装置

※1: 確認した記録

- ・平成30年度川内原子力発電所原子力一般教育の実施計画(重大事故等発生時の対応に係る成立性の確認訓練)
- ・現場シーケンス訓練 訓練体制【Ⅱ 雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)】
- ・力量評価表(緊急時対策本部要員(指揮者等)の力量)
- ・重大事故等対策用資機材等点検チェックシート
- ・成立性の確認訓練実績報告(平成30年度) 他

※2: 確認した基準・手順書

a) 非常事態対策基準

b) 運転基準(緊急処置編、緊急処置編第二部・第三部、緊急処置編個別手順書)

- ・事故直後の操作及び事象判別
- ・全交流動力電源喪失
- ・運転基準緊急処置編(第三部)
- ・大容量空冷式発電機による受電
- ・常設電動注入ポンプによる代替格納容器スプレイ
- ・B充てん/高圧注入ポンプ(自己冷却)による代替炉心注入
- ・アニュラス空気浄化系による水素排出 他

c) 手順書

- ・常設電動注入ポンプによる接続手順書(格納容器スプレイ・炉心注入)
- ・宮山池(淡水)から中間受槽への給水手順書
- ・中間受槽から2号復水タンクへの給水手順書
- ・可搬型格納容器水素濃度計測装置による接続／運転手順書
- ・移動式大容量ポンプ車による海水通水手順書 他

※3: 立会いた内容

- ・訓練体制の確立状況
- ・訓練対象者の活動状況(情報収集、状況判断、指示・報告、手順書の遵守等)
- ・時間計測員の活動状況(時間計測・記録等) 他

ウ) 大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練

検査の結果「SA等要員訓練に係る準備の実施状況」については、原子力訓練センター所長が、平成30年度の大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練の実実施計画を作成し、原子炉主任技術者の確認及び所長の承認を得ていることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

発電用原子炉施設において大規模な損壊が発生した場合の対応要領及び消防自動車による給水手順が定められていることを手順書<sup>※2</sup>により確認した。

今回の訓練対象者である緊急時対策本部要員[全体指揮者、号炉毎指揮者、通報連絡者](以下「指揮者等」という。)及び専属消防隊員が必要な力量を有していることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

防災課長及び発電課長が、当該訓練で使用する手順書を適宜見直していることを手順書<sup>※2</sup>により確認した。

防災課長及び保修課長が、化学消防自動車、移動式大容量ポンプ車等の点検を適切に実施していることを記録<sup>※1</sup>により確認した。

「SA等要員訓練の実施状況」については、代替緊急時対策所において、指揮者等が「大規模損壊時対応ガイドライン」に従い「火災の発生状況」「初期状態」「電源系統の状態」「機器の状態」「可搬型重大事故等対処設備等の状態」等について確認するとともに、プラント状況(炉心温度・圧力、格納容器温度・圧力等)を確認した上で、事象進展に応じた有効かつ効果的な対応操作を判断した後、運転員、重大事故等対策要員及び専属消防隊員に対して可搬型計測器によるパラメータ計測、アクセスルートの確保及び消防自動車による消火活動、原子炉への注入操作(又は、格納容器スプレイ操作)等について指示していること等を立会い<sup>※3</sup>により確認した。

専属消防隊員が、指揮者等の指示に従い、小型動力ポンプ付水槽車及び化学消防自動車を配備するとともに、ろ過水貯蔵タンクから補助建屋内の接続口まで送水ホースを敷設した後、専用フランジ取替え作業(モックアップ)を実施していること等を立会い<sup>※3</sup>により確認した。

訓練確認者が、指揮者等及び専属消防隊員の活動状況を「確認ポイントチェックシート」に基づいてチェックしていることを立会い※<sup>3</sup>及び記録※<sup>1</sup>により確認した。

訓練評価者である防災次長が、今回の訓練について評価(評価結果:良)し、防災課長が、原子炉主任技術者及び所長に報告していることを記録※<sup>1</sup>により確認した。

また、訓練対象者(号炉毎指揮者、専属消防隊指揮者)に対して、大規模損壊発生時における情報収集、状況判断、操作・作業の重要性等についてインタビューを実施した。

なお、化学消防車による放水に際して、放水前後、途中においても放水総量が確認されていなかったことを気付き事項として指摘したところ、事業者より「放水総量については確認が必要と考えることから、規定文書にその旨記載する。」との回答を得た。

また、代替CVスプレイのためのフランジ接続のための既設平板取外し時、ボルト、ナットが固着していた際に必要なハンマリング用のハンマーが配備されていないことを気付き事項として指摘したところ、事業者より「規定文書に反映し、化学消防車に配備する。」との回答を得た。

#### ※1:確認した記録

- ・平成30年度川内原子力発電所原子力一般教育の実施計画(大規模損壊発生時の対応に係る技術的能力の確認訓練)
- ・技術的能力に係る訓練(大規模損壊)訓練体制
- ・力量評価表(緊急時対策本部要員(指揮者等)の力量)
- ・化学消防自動車日常点検表
- ・技術的能力の確認訓練実績報告(2018年度) 他

#### ※2:確認した手順書

- ・大規模損壊時対応ガイドライン
- ・消防自動車による給水手順(炉心・格納容器スプレイ) 他

#### ※3:立会いた内容

- ・訓練体制の確立状況
- ・訓練対象者の活動状況
- ・訓練確認者の活動状況 他

### 工)その他のSA等要員訓練

検査の結果、別添4のとおり、訓練計画に従い「中央制御室主体の操作に係る成立性確認訓練」「技術的能力に係る成立性確認訓練」及び「現場主体の作業・操作に係る成立性確認机上訓練」を実施していることを記録※<sup>1</sup>より確認した。

#### ※1:確認した記録

- ・成立性確認訓練等月間計画表

・成立性確認訓練実施報告書

また、保安検査実施期間中の日々の運転管理状況については、運転管理状況の確認、発電用原子炉施設の巡視等を行った結果、特段問題がないことを確認した。

以上のことから、当該SA等要員訓練に係る保安活動は良好であると判断する。

(2)違反事項

なし。

5. 特記事項

なし。

(別添1)

## SA等要員訓練時の保安検査日程(1号機及び2号機) (1/2)

【現場シーケンス訓練: 全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)】

月 日	1月21日(月)	1月22日(火)	1月23日(水)	1月24日(木)	1月25日(金)	1月26日(土) 1月27日(日)
午 前	●初回会議 ●中央制御室の巡視及びITVカメラによる原子炉格納容器内確認	●検査前会議 ●中央制御室の巡視	●検査前会議 ○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】	●検査前会議 ○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】	●検査前会議 ○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】	
午 後	●運転管理状況の確認 ○SA等要員訓練に係る準備の実施状況【記録確認】 ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確認 ○SA等要員訓練に係る準備の実施状況【記録確認、インタビュー】 ●チーム会議 ●まとめ会議	○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】 ●チーム会議 ●まとめ会議	○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】 ●チーム会議 ●まとめ会議	○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】 ●チーム会議 ●まとめ会議	
勤務 時間外						

○:基本検査項目 ●:会議/記録確認/巡視等

### SA等要員訓練時の保安検査日程(1号機及び2号機) (2/2)

【現場シーケンス訓練: 全交流動力電源喪失(RCPシールLOCAが発生する場合)】

12

月 日	1月28日(月)	1月29日(火)	1月30日(水)
午 前	●検査前会議 ●中央制御室の巡視及びITVカメラによる原子炉格納容器内確認	●検査前会議 ●原子炉施設の巡視	●検査前会議 ●中央制御室の巡視
午 後	●運転管理状況の確認  ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確認  ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確認 ○SA等要員訓練の実施状況【記録確認】  ●チーム会議 ●まとめ会議 ●最終会議
勤務時間外			

○:基本検査項目 ●:会議/記録確認/巡視等

### SA等要員訓練時の保安検査日程(1号機及び2号機) (1/2)

【現場シーケンス訓練: 雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)】

月 日	2月18日(月)	2月19日(火)	2月20日(水)	2月21日(木)	2月22日(金)	2月23日(土) 2月24日(日)
午 前	●初回会議 ●中央制御室の巡視及びITVカメラによる原子炉格納容器内確認	●検査前会議 ●中央制御室の巡視	●検査前会議 ○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】	●検査前会議 ○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】	●検査前会議 ○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】	
午 後	●運転管理状況の確認 ○SA等要員訓練に係る準備の実施状況【記録確認】  ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確認 ○SA等要員訓練に係る準備の実施状況【インタビュー及び記録確認】  ●チーム会議 ●まとめ会議	○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】  ●チーム会議 ●まとめ会議	○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】  ●チーム会議 ●まとめ会議	○SA等要員訓練の実施状況【現場立会い】  ●チーム会議 ●まとめ会議	
勤務 時間外						

○:基本検査項目 ●:会議/記録確認/巡視等

### SA等要員訓練時の保安検査日程(1号機及び2号機) (2/2)

【現場シーケンス訓練: 雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧破損)】

14

月 日	2月25日(月)	2月26日(火)	2月27日(水)
午 前	●検査前会議 ●中央制御室の巡視及び ITV カメラによる原子炉 格納容器内確認	●検査前会議 ●中央制御室の巡視	●検査前会議 ○SA等要員訓練の実施 状況【記録確認】
午 後	●運転管理状況の確認  ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確認  ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確認  ●チーム会議 ●まとめ会議 ●最終会議
勤務 時間外			

○:基本検査項目 ●:会議/記録確認/巡視等



(別添3)

### SA等要員訓練時の保安検査日程(1号機及び2号機)

【大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練】

月 日	3月13日(水)	3月14日(木)	3月15日(金)	3月16日(土) 3月17日(日)	3月18日(月)	3月19日(火)	3月20日(水)
午前	●初回会議 ●中央制御室の巡視	●検査前会議	●検査前会議 ○SA等要員訓練の実 施状況【現場立会い】		●検査前会議	●検査前会議 ●中央制御室の巡視	●検査前会議
午後	●運転管理状況の確 認 ○SA等要員訓練に係 る準備の実施状況 【記録確認】  ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確 認 ○SA等要員訓練に係 る準備の実施状況 【記録確認、インタ ビュー】  ●チーム会議 ●まとめ会議	○SA等要員訓練の実 施状況【現場立会い】  ●チーム会議 ●まとめ会議		●運転管理状況の確 認  ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確 認  ●チーム会議 ●まとめ会議	●運転管理状況の確 認 ○SA等要員訓練の実 施状況【記録確認】  ●チーム会議 ●まとめ会議 ●最終会議
勤務 時間外							

○:基本検査項目 ●:会議/記録確認/巡視等

(別添4)

## その他のSA等要員訓練に係る保安検査実施状況(1/2)

### (1号機及び2号機)

訓練名称	訓練実施日	保安検査実施日	保安検査実施者
中央制御室主体の操作に係る成立性確認訓練	平成31年1月10日	平成31年1月29日 (記録確認)	川ノ上 浩文、川越 和浩、 米丸 祥一
技術的能力に係る成立性確認訓練 (運転員・運転対応要員)	平成31年1月11日、15日	平成31年1月29日 (記録確認)	川ノ上 浩文、川越 和浩、 米丸 祥一
技術的能力に係る成立性確認訓練 (保修対応要員)	平成30年12月25日、26日、27日、平成31年1月7日	平成31年1月29日 (記録確認)	川ノ上 浩文、川越 和浩、 米丸 祥一
現場主体の作業・操作に係る成立性確認机上訓練	平成30年12月25日	平成31年1月29日 (記録確認)	川ノ上 浩文、川越 和浩、 米丸 祥一
中央制御室主体の操作に係る成立性確認訓練	平成31年2月4日	平成31年2月26日 (記録確認)	川ノ上 浩文、川越 和浩、 佐々木 敬一、米丸 祥一
技術的能力に係る成立性確認訓練 (運転員・運転対応要員)	平成31年2月4日、12日	平成31年2月26日 (記録確認)	川ノ上 浩文、川越 和浩、 佐々木 敬一、米丸 祥一
現場主体の作業・操作に係る成立性確認机上訓練	平成31年1月30日、2月1日	平成31年2月26日 (記録確認)	川ノ上 浩文、川越 和浩、 佐々木 敬一、米丸 祥一

(別添4)

## その他のSA等要員訓練に係る保安検査実施状況(2/2)

### (1号機及び2号機)

訓練名称	訓練実施日	保安検査実施日	保安検査実施者
中央制御室主体の操作に係る成立性確認訓練	平成31年3月6日、18日	平成31年3月29日 (記録確認)	佐々木 敬一、中村哲朗
技術的能力に係る成立性確認訓練 (運転員・運転対応要員)	平成31年2月28日、3月4日、6日	平成31年3月29日 (記録確認)	佐々木 敬一、中村哲朗
技術的能力に係る成立性確認訓練 (保修対応要員)	平成31年2月1日、25~27日、3月5~8日、15日、 18~20日	平成31年3月29日 (記録確認)	佐々木 敬一、中村哲朗
現場主体の作業・操作に係る成立性確認机上訓練	平成31年3月1日、5日、13日	平成31年3月29日 (記録確認)	佐々木 敬一、中村哲朗